

SCG068-14

会場:104

時間:5月22日 17:45-18:00

## スイス、グリムゼル地下試験場における花崗岩地下水の生物地球化学的調査 Biogeochemical Biogeochemical Investigations of Granitic Groundwater from the Grim- sel Test Site, Switzerland

今野 祐多<sup>1\*</sup>, 幸塚 麻里子<sup>1</sup>, 鈴木 庸平<sup>1</sup>, 伊藤一誠<sup>1</sup>, 渡部 芳夫<sup>1</sup>  
Uta Konno<sup>1\*</sup>, Mariko Kouduka<sup>1</sup>, Yohey Suzuki<sup>1</sup>, Ito Kazumasa<sup>1</sup>, Yoshio Watanabe<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 産業技術総合研究所深部地質研究コア

<sup>1</sup> AIST

放射性廃棄物地層処分の安全性を確保するために、地下水中の地球化学特性の変動や将来予測が必要となる。核種移行に大きな影響を与える地球化学因子のひとつである酸化還元状態は、岩石 - 微生物 - 水の相互作用、特に地下微生物代謝活動により支配・形成されている。そのため地球化学特性の変動や将来予測をおこなうために、現在の地球化学環境の解明と進行しているプロセスの解明をおこなう必要がある。そこで本研究では、スイス、グリムゼル地下試験場における試錐孔 JPG09.002、LCS08.002、BOADUS、US85.02.i1 および VE88.003.i1 より地下水試を採取し、地球化学・微生物特性のキャラクタリゼーションを行った。本発表では、淡水系花崗岩地下水を胚胎するグリムゼル地下試験場における生物地球化学特性の一般性と固有性について議論する。

本研究は原子力安全・保安院「平成 22 年度地層処分に係る地質評価手法等の整備」として実施した。